

団体名	特定非営利活動法人 山形県自動車公益センター		
事業名	令和4年度 環境意識啓発事業 エコフォトコンテスト		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の所在市町村	山形市	事業費	955,130円
		うち助成金額	950,000円



## ○ 事業目的

一世帯当たりの自動車保有台数が全国トップレベルの山形県民にとって、日々の日常生活を営むにあたり、自動車は欠かせない存在です。同時に、全国に誇れる自然豊かな環境に暮らす私たち県民一人ひとりが、この環境を次世代へ繋いでいくために守り続けていくこと、すなわち、より環境保全に対する意識を高めるなど、その重要性を改めて認識してもらうことを、本事業の目的としております。

## ○ 実施内容

「令和4年やまがた環境展」内、展示場を設置。入選作品を始め、応募全作品を掲示のうえ、作品を募集。今回新たに「母なる海部門」を設け、各地域やさまざまな視点で感じる山形の再発見を促すとともに、入選作品発表は新聞紙上で行うなど、多くの方の目に触れ意識啓発に繋がるよう、努めました。

## ○ 事業の成果

応募作品については、各部門合計180点の応募があり、改めて環境保全に係わる関心の高さを感じるとともに、今回「令和4年やまがた環境展」として、3年振りにリアル開催されたことから、会場内で行った入選作品、及び応募作品全数の展示にあたり、多くの来場者の目に触れるよう、会場内での回遊を含め、展示等配置の仕方についても創意工夫を行うなど努めました。

なお、今回新設した「母なる海部門」の作品が山形県知事賞入選の作品だったことから、その写真を撮るに至った背景等、受賞ご本人様より表彰式席上にてコメントをいただき、かつ、選考皆さまとの対話を設けるなど、それぞれの「郷土愛」を感じ、和やかに表彰式が行えたことは、一つの成果であったと思っております。

## ○ 今後の展望

リアル開催となった「令和4年やまがた環境展」において、作品展示とともに、3年振りに行った表彰式では、各部門の受賞者それぞれが情報交換等交流へと繋がり、和やかに開催できたことは、大変嬉しく、これからの展開に大いなる力をいただきました。

長く続いたコロナ禍ではありましたが、山形の豊かな自然が次世代へと続くよう、改めて自然環境保護の重要性等を啓発することの意義を強く感じるに至り、ぜひ次回も本事業の継続実施を目指し、環境意識に対する県民意識の高揚に繋がるよう、情報発信の仕方など工夫を行い、広く周知できますよう、努めて参りたいと考えております。

